

報告書No.

A01007403401A

新座市長 様

旧新座市立歴史民俗資料館
石綿含有分析調査業務委託

報 告 書

2023 年 9 月

1ECC 株式会社 環境管理センター

北関東技術センター

〒338-0003 埼玉県さいたま市中央区本町東 3-15-12

TEL:048-840-1100(代) FAX:048-840-1101

技 術 セ ン ター

〒192-0154 東京都八王子市下恩方町 323-1

TEL:042-650-7220 FAX:042-652-0800

制 限 事 項

1. 使用について

- (1) 本報告書を使用する者は、一切自己の責任において使用するものとする。
- (2) 本報告書は、その一貫性を維持するために、常にその全体を示す形で掲示されなければならない。

2. 網羅性について

- (1) 本報告書は、その性質上概略的な位置付けであり、包括的に全てを網羅することを意図していないため、本報告書中に記述されていない箇所が存在する場合があります。
- (2) 更なる調査により、本報告書中における提案・指摘事項を再評価する必要を生じさせる追加情報が明らかになる可能性がある。

3. 一般性等について

- (1) 株式会社環境管理センターは法的手続き等が行われたかどうかの確認について、責任を負うものではない。

4. 免責について

- (1) 株式会社環境管理センターの役割は、助言をするに過ぎないことを御理解頂いた上、本報告書の使用に起因して当該使用者または第三者に発生する損害もしくは損害賠償責任等その他一切の法的問題から、株式会社環境管理センターは免責されるものとする。

5. 有効期限について

- (1) 対象物件に関して、評価内容に関わる改変が行われた場合には、本報告書は無効とする。

目 次

1. 調査目的.....	1
2. 調査の種類.....	1
3. 調査年月日.....	1
4. 調査対象建物の場所、概要.....	1
5. 調査実施機関及び実施者.....	1
6. 調査方法.....	2
7. 調査結果.....	3

添付資料

試験結果報告書

現場写真

試料採取箇所図

アスベスト建材目視調査野帳

資格証

アスベストに係る関係法令等

1. 調査目的

本調査は、令和5年3月末で閉館した旧新座市立歴史民俗資料館既存建屋の石綿の調査を行うことにより、既存建屋における石綿の使用状況を把握することを目的とした。

2. 調査の種類

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 石綿則第3条及び大防法第18条の15に基づく事前調査 | 2. その他の調査 |
|-------------------------------|-----------|

3. 調査年月日

- (1) 設計図書調査日

2023年7月10日

- (2) 目視調査及び試料採取日

目視調査：2023年7月27日

試料採取：2023年7月27日、8月17日

4. 調査対象建物の場所、概要

- (1) 調査対象建物の場所

住所：新座市片山一丁目21番25号

- (2) 調査対象建物の概要

表4-1 調査対象建物の概要

建物名	建築年	規模	延床面積	構造	用途
旧新座市立歴史民俗資料館	1981 年 (昭和 56 年)	地上 1 階	365.8 m ²	RC 造	資料館

5. 調査実施機関及び実施者

- (1) 設計図書調査、目視調査及び試料採取

株式会社環境管理センター 技術センター

坪井 忠（特定建築物石綿含有建材調査者 修了証明書番号：神奈川1 第H2603083号）

講習実施機関の名称：一般財団法人日本環境衛生センター

- (2) 分析

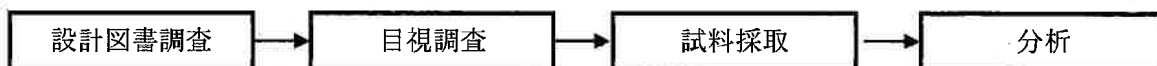
株式会社環境管理センター 技術センター

倉繁 太郎（石綿分析技術評価事業 A ランク認定証：2213A0077 号）

講習実施機関の名称：公益社団法人 日本作業環境測定協会

6. 調査方法

本調査は、以下の手順に従い実施した。



(1) 設計図書調査

設計図書からアスベスト含有疑義建材（吹付材、保温材、成形板等）とその使用箇所を確認した。使用した設計図書資料を以下に示す。

- ・『(仮称) 新座市立歴史民俗資料館 新築工事』(設計図)

(2) 目視調査

現地にて建物内外の建材、設備等について目視確認を行い、アスベスト含有疑義建材（吹付材、保温材、成形板等）とその使用箇所を確認した。

調査は目視可能な範囲を対象とし、天井裏は点検口がある部屋のみを対象として調査した。

入室ができなかった部屋や天井裏が確認できなかった箇所等については、添付資料「アスベスト建材目視調査野帳」に示す。

(3) 試料採取

目視調査で確認したアスベスト含有疑義建材を採取した。

採取対象とした試料は、次の2点が明らかにならなかったものを原則対象とした。

- ・その製品のメーカーによる証明や成分情報
- ・その製造年月日が平成18年9月1日以降であること

試料の性状が均一と判断した建材については、代表の1箇所から採取し、吹付材等の試料のようにばらつきが考えられる建材については、3箇所から採取して分析試料とした。

採取箇所はビニール養生等を行い、採取箇所からの飛散防止を行った上で、カッター・ヘラ等の工具を使用して採取を行った。採取した試料は飛散しないように密閉式の容器等に封入した。

(4) 分析

採取試料について、JIS A 1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法―第1部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」に基づき、偏光顕微鏡観察によりアスベスト含有の有無（定性分析）を判定した。

分析項目及び分析方法を表6-1に示す。

表6-1 分析項目及び分析方法

分析項目		分析方法
石綿（アスベスト） 定性分析	クリソタイル	JIS A 1481-1
	アモサイト	
	クロシドライト	
	トレモライト／アクチノライト	
	アンソフィライト	

7. 調査結果

目視調査の結果、アスベスト含有疑義建材は24建材確認され、それらについて試料採取・分析を実施した。分析結果を表7-1に示す。なお、確認されたアスベスト含有疑義建材の使用場所、使用部位については、添付資料「アスベスト建材目視調査野帳」に示す。

表7-1 調査結果（分析結果）

No.	採取箇所（採取部位）	分析結果			レベル ^{※1}
		アスベストの有無	アスベストの種類	推定アスベスト質量分率（％）	
1	玄関ホール 床 ビニル床タイル（ベージュ）A	有	クリソタイル	0.1-5	3
2	風除室 床 ビニル床タイル（ベージュ）B	有	クリソタイル トモライト/アケチノライト	0.1-5 0.1-5	3
3	修理工作管理室 床 ビニル床タイル（緑）	有	クリソタイル	0.1-5	3
4	男子トイレ 床 タイル下地材	無	-	-	-
5	玄関ホール 巾木 ソフト巾木	有	クリソタイル	0.1-5	3
6	燻蒸室・前室 巾木 塗装材（茶）	無	-	-	-
7	展示室 壁 せっこうボード・塗装材（白）	無	-	-	-
8	研修室 壁 ビニルクロス	無	-	-	-
9	燻蒸室・前室 壁 塗装材（白）	無	-	-	-
10	男子トイレ 壁 タイル下地材	有	クリソタイル	0.1-5	3
11	修理工作管理室 天井 せっこうボード（化粧）	無	-	-	-
12	物入 天井 スレートボードA・塗装材（白）	有	クリソタイル	5-50	3
13	燻蒸室 天井 スレートボードB・塗装材（白）	有	クリソタイル	5-50	3
14	修理工作管理室 キッチン棚底面 けい酸カルシウム板第1種	有	クリソタイル アモサイト	0.1-5 0.1-5	3 ^{※Ⅲ}
15	屋上 床 シート防水	無	-	-	-
16	屋上 床 アスファルト防水	有	トモライト/アケチノライト	0.1-5	3
17	収蔵庫 天井 ロックウール吸音天井板	有	クリソタイル	0.1-5	3
18	収蔵庫 天井 せっこうボード	無	-	-	-
19	外部 外壁 塗装材（オフホワイト）A	無	-	-	-
20	外部 外壁 塗装材（ベージュ）	無	-	-	-
21	外部 外壁 シーリング材A	無	-	-	-
22	外部 塀 塗装材（オフホワイト）B	無	-	-	-
23	外部 塀 塗装材（赤茶）	無	-	-	-
24	外部 塀 シーリング材B	無	-	-	-

□：アスベスト含有建材を示す。

※Ⅰ：建材の種類に対するレベル

「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（環境省・厚生労働省）」に示された石綿含有建材の種類ごとに応じた分類。

除去等の作業を行う際は、建材の種類や作業内容に応じて、飛散防止対策を取る必要がある。

レベルⅠの建材：発じん性が著しく高い建材（石綿含有吹付け材）

レベルⅡの建材：発じん性が高い建材（石綿含有耐火被覆板、断熱材、保温材等）

レベルⅢの建材：発じん性が比較的低い建材（その他の石綿含有建材（成形板等））

仕 上 塗 材：発じん性が比較的低い塗材（石綿含有仕上塗材）

《建材の種類に対する一般的な作業手順》

【「作業レベルⅠ（発じん性が著しく高いレベルⅠの建材）及び作業レベルⅡ（発じん性が高いレベルⅡの建材）」について】

「吹き付けられた石綿等の除去等」及び「保温材等を切断等により除去」を行う場合の作業においては、他の作業場所からの隔離、集じん・排気装置の設置、前室及び設備の設置、隔離空間への入退室時の必要な措置、湿潤化等の措置を講じる必要がある。

「保温材等を掻き落とし、切断又は破碎を行わずに、除去等を行う場合」は、床面等必要な部分への隔離養生（負圧不要）、除去する保温材等を薬液等により湿潤化等の措置を講じる必要がある。

【「作業レベルⅢ（発じん性が比較的低いレベルⅢの建材）」について】

「石綿含有成形板を除去する作業」においては、切断等により除去する場合は、除去部分を常時湿潤する必要がある。

※Ⅱ：仕上塗材と下地調整塗材に係る作業をする場合には、塗材のどの層に石綿があるのかを明らかにして、工法・作業を選択する必要がある。

仕上塗材を除去する場合は、常時湿潤な状態とした上で除去する必要がある。

また、電動工具（ディスクグラインダー又はディスクサンダー）を使用して除去する場合は、作業場所の隔離（負圧不要）を行い、かつ湿潤な状態のものとする等の措置を講じる必要がある。

石綿を含有する建築用下地調整塗材は、法令上は石綿含有成形板等の作業基準が適用されるが、除去に当たっては、湿潤化等の措置を実施する必要がある。

※Ⅲ：石綿含有成形板のうち「けい酸カルシウム板第Ⅰ種」を切断等により除去する場合は、除去部分周辺を隔離養生（負圧不要）するとともに、除去部分を常時湿潤化する必要がある。



試験結果報告書



報告書番号: H29437101DA
発行年月日: 2023年9月8日

試験結果報告書

新座市長 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりです。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

株式会社 環境管理センター 技術センター
〒192-0154 東京都八王子市下恩方町323番地1号
TEL 042-650-7230 / FAX 042-652-0800
作業環境測定機関 登録番号 13-6

物件名称	旧新座市立歴史民俗資料館石綿含有分析調査業務委託
------	--------------------------

・分析実施者

評価区分	氏名	(公社) 日本作業環境測定協会実施「石綿分析技術評価事業」のランク及び認定No.			
JIS A 1481-1 (2016)	石黒 友祥	—	合格	認定No.	2109合0091
JIS A 1481-1 (2016)	倉繁 太郎	ランク	A	認定No.	2213A0077

・分析方法

JIS A 1481-1 (2016) に準拠した方法 (偏光顕微鏡による測定)

・採取区分

測定対象	新座市片山一丁目21番25号/旧新座市立歴史民俗資料館
採取区分	当事業所採取

・分析結果

依頼 No.	採取箇所 (採取部位)	採取年月日 及び時間	石綿含有判定結果			非アスベスト繊維	備考
			アスベスト の有無	アスベストの 種類	推定アスベスト 質量分率 (%)		
294371	玄関ホール 床 ビニル床タイル(ベージュ)A	2023年7月27日	有	クリンタイル	0.1-5	有機繊維 無機繊維	ビニル床タイル層: 検出 接着剤層: 不検出
294372	風除室 床 ビニル床タイル(ベージュ)B	2023年7月27日	有	クリンタイル トモライト/アークライト	0.1-5 0.1-5	有機繊維 無機繊維	ビニル床タイル層: 不検出 接着剤層: 検出
294373	修理工作管理室 床 ビニル床タイル(緑)	2023年7月27日	有	クリンタイル	0.1-5	有機繊維 無機繊維	ビニル床タイル層: 検出 接着剤層: 不検出
294374	男子トイレ 床 タイル下地材	2023年7月27日	無	—	—	なし	

報告書番号: H29437101DA
発行年月日: 2023年9月8日

試験結果報告書

新座市長 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりです。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

株式会社 環境管理センター 技術センター
〒192-0154 東京都八王子市下埜方町323番地1号
TEL 042-650-7230 / FAX 042-652-0800
作業環境測定機関 登録番号 13-6

物件名称	旧新座市立歴史民俗資料館石綿含有分析調査業務委託
------	--------------------------

・分析実施者

評価区分	氏名	(公社) 日本作業環境測定協会実施「石綿分析技術評価事業」のランク及び認定No.			
JIS A 1481-1 (2016)	石黒 友祥	—	合格	認定No.	2109合009I
JIS A 1481-1 (2016)	倉繁 太郎	ランク	A	認定No.	2213A0077

・分析方法

JIS A 1481-1 (2016) に準拠した方法 (偏光顕微鏡による測定)

・採取区分

測定対象	新座市片山一丁目21番25号／旧新座市立歴史民俗資料館
採取区分	当事業所採取

・分析結果

依頼 No.	採取箇所 (採取部位)	採取年月日 及び時間	石綿含有判定結果			非アスベスト繊維	備考
			アスベスト の有無	アスベストの 種類	推定アスベスト 質量分率 (%)		
294375	玄関ホール 巾木 ソフト巾木	2023年7月27日	有	クリソタイル	0.1-5	有機繊維	ソフト巾木層：不検出 接着剤層：検出
294376	燻蒸室・前室 巾木 塗装材(茶)	2023年7月27日	無	—	—	なし	
294377	展示室 壁 せつこうボード・塗装材(白)	2023年7月27日	無	—	—	有機繊維	
294378	研修室 壁 ビニルクロス	2023年7月27日	無	—	—	有機繊維	

報告書番号: H29437101DA
発行年月日: 2023年9月8日

試験結果報告書

新座市長 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりです。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

株式会社 環境管理センター 技術センター
〒192-0154 東京都八王子市下馬場町323番地1号
TEL 042-650-7220 / FAX 042-652-0800
作業環境測定機関 登録番号 13-6

物件名称	旧新座市立歴史民俗資料館石綿含有分析調査業務委託
------	--------------------------

・分析実施者

評価区分	氏名	(公社) 日本作業環境測定協会実施「石綿分析技術評価事業」のランク及び認定No.			
JIS A 1481-1 (2016)	石黒 友祥	—	合格	認定No.	2109合0091
JIS A 1481-1 (2016)	倉繁 太郎	ランク	A	認定No.	2213A0077

・分析方法

JIS A 1481-1 (2016) に準拠した方法 (偏光顕微鏡による測定)

・採取区分

測定対象	新座市片山一丁目21番25号 / 旧新座市立歴史民俗資料館
採取区分	当事業所採取

・分析結果

依頼 No.	採取箇所 (採取部位)	採取年月日 及び時間	石綿含有判定結果			非アスベスト繊維	備考
			アスベスト の有無	アスベストの 種類	推定アスベスト 質量分率 (%)		
294379	燻蒸室・前室 壁 塗装材(白)	2023年7月27日	無	—	—	なし	
294380	男子トイレ 壁 タイル下地材	2023年7月27日	有	クリソタイル	0.1-5	なし	
294381	修理工作管理室 天井 せっこうボード(化粧)	2023年7月27日	無	—	—	有機繊維	
294382	物入 天井 スレートボードA・塗装材(白)	2023年7月27日	有	クリソタイル	5-50	有機繊維	

報告書番号: H29437101DA
発行年月日: 2023年9月8日

試験結果報告書

新座市長 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりです。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

株式会社 環境管理センター 技術センター
〒192-0154 東京都八王子市下壺方町323番地1号
TEL 042-650-7220 / FAX 042-652-0800
作業環境測定機関 登録番号 13-6

物件名称	旧新座市立歴史民俗資料館石綿含有分析調査業務委託
------	--------------------------

・分析実施者

評価区分	氏名	(公社) 日本作業環境測定協会実施「石綿分析技術評価事業」のランク及び認定No.			
JIS A 1481-1 (2016)	石黒 友祥	—	合格	認定No.	2109合0091
JIS A 1481-1 (2016)	倉繁 太郎	ランク	A	認定No.	2213A0077

・分析方法

JIS A 1481-1 (2016) に準拠した方法 (偏光顕微鏡による測定)

・採取区分

測定対象	新座市片山一丁目21番25号／旧新座市立歴史民俗資料館
採取区分	当事業所採取

・分析結果

依頼 No.	採取箇所 (採取部位)	採取年月日 及び時間	石綿含有判定結果			非アスベスト繊維	備考
			アスベスト の有無	アスベストの 種類	推定アスベスト 質量分率 (%)		
294383	燻蒸室 天井 スレートボードB・塗装材(白)	2023年7月27日	有	クリンタイル	5-50	有機繊維	
294384	修理工作管理室 キッチン棚底面 けい酸カルシウム板第1種	2023年7月27日	有	クリンタイル アモサイト	0.1-5 0.1-5	有機繊維	
294385	屋上 床 シート防水	2023年7月27日	無	—	—	無機繊維	
294386	屋上 床 アスファルト防水	2023年7月27日	有	レモライト/アタチ/ライト	0.1-5	有機繊維 無機繊維	

以上

報告書番号: H29577401DA
発行年月日: 2023年9月8日

試験結果報告書

新座市長 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりです。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

株式会社 環境管理センター 技術センター
〒192-0154 東京都八王子市下恩方町323番地1号
TEL 042-650-7220 / FAX 042-652-0800
作業環境測定機関 登録番号 13-6

物件名称	旧新座市立歴史民俗資料館石綿含有分析調査業務委託
------	--------------------------

・分析実施者

評価区分	氏名	(公社) 日本作業環境測定協会実施「石綿分析技術評価事業」のランク及び認定No.			
JIS A 1481-1 (2016)	石黒 友祥	—	合格	認定No.	2109合0091
JIS A 1481-1 (2016)	倉繁 太郎	ランク	A	認定No.	2213A0077

・分析方法

JIS A 1481-1 (2016) に準拠した方法 (偏光顕微鏡による測定)
--

・採取区分

測定対象	新座市片山一丁目21番25号／旧新座市立歴史民俗資料館
採取区分	当事業所採取

・分析結果

依頼 No.	採取箇所 (採取部位)	採取年月日 及び時間	石綿含有判定結果			非アスベスト繊維	備考
			アスベスト の有無	アスベストの 種類	推定アスベスト 質量分率 (%)		
295774	収蔵庫 天井 ロックウール吸音天井板	2023年8月17日	有	クリソタイル	0.1-5	有機繊維 無機繊維	
295775	収蔵庫 天井 せつこうボード	2023年8月17日	無	—	—	有機繊維 無機繊維	
295776	外部 外壁 塗装材 (オフホワイト)A	2023年8月17日	無	—	—	有機繊維	
295777	外部 外壁 塗装材 (ベージュ)	2023年8月17日	無	—	—	なし	

報告書番号: H29577401DA
発行年月日: 2023年9月8日

試験結果報告書

新座市長 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりです。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

株式会社 環境管理センター 技術センター
〒192-0154 東京都八王子市下町方町323番地1号
TEL 042-650-7220 / FAX 042-652-0800
作業環境測定機関 登録番号 13-6

物件名称	旧新座市立歴史民俗資料館石綿含有分析調査業務委託
------	--------------------------

・分析実施者

評価区分	氏名	(公社) 日本作業環境測定協会実施「石綿分析技術評価事業」のランク及び認定No.			
JIS A 1481-1 (2016)	石黒 友祥	—	合格	認定No.	2109合0091
JIS A 1481-1 (2016)	倉繁 太郎	ランク	A	認定No.	2213A0077

・分析方法

JIS A 1481-1 (2016) に準拠した方法 (偏光顕微鏡による測定)
--

・採取区分

測定対象	新座市片山一丁目21番25号/旧新座市立歴史民俗資料館
採取区分	当事業所採取

・分析結果

依頼 No.	採取箇所 (採取部位)	採取年月日 及び時間	石綿含有判定結果			非アスベスト繊維	備考
			アスベスト の有無	アスベストの 種類	推定アスベスト 質量分率 (%)		
295778	外部 外壁 シーリング材A	2023年8月17日	無	—	—	なし	
295779	外部 塀 塗装材(オフホワイト)B	2023年8月17日	無	—	—	なし	
295780	外部 塀 塗装材(赤茶)	2023年8月17日	無	—	—	なし	
295781	外部 塀 シーリング材B	2023年8月17日	無	—	—	有機繊維	

以上



現場写真



試料No.1 玄関ホール 床 ビニル床タイル(ベージュ)A



採取前



採取後・採取試料

試料No.2 風除室 床 ビニル床タイル(ベージュ)B



採取前



採取後・採取試料

試料No.3 修理工作管理室 床 ビニル床タイル(緑)



採取前



採取後・採取試料

試料No.4 男子トイレ 床 タイル下地材



採取前



採取後・採取試料

試料No.5 玄関ホール 巾木 ソフト巾木



採取前

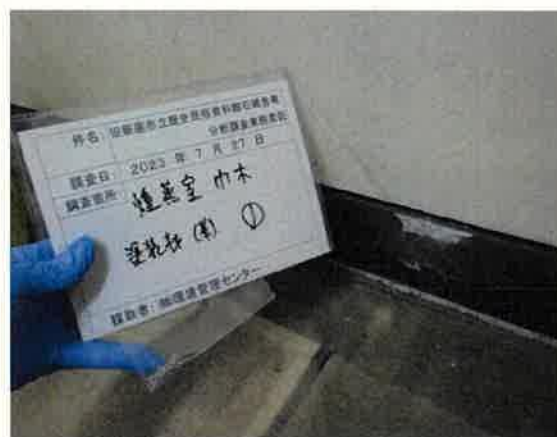


採取後・採取試料

試料No.6 燻蒸室・前室 巾木 塗装材(茶)



採取前①



採取後・採取試料①



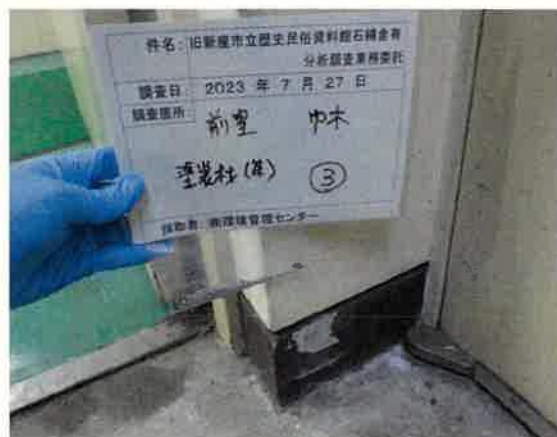
採取前②



採取後・採取試料②



採取前③



採取後・採取試料③

試料No.7 展示室 壁 せっこうボード・塗装材(白)



採取前



採取後・採取試料

試料No.8 研修室 壁 ビニルクロス



採取前



採取後・採取試料

試料No.9 燻蒸室・前室 壁 塗装材(白)



採取前①



採取後・採取試料①



採取前②



採取後・採取試料②



採取前③



採取後・採取試料③

試料No.10 男子トイレ 壁 タイル下地材



採取前



採取後・採取試料

試料No.11 修理工作管理室 天井 せっこうボード(化粧)



採取前



採取後・採取試料

試料No.12 物入 天井 スレートボードA・塗装材(白)



採取前

※看板誤記
誤: フレキシブルボード
正: スレートボード



採取後・採取試料

※看板誤記
誤: フレキシブルボード
正: スレートボード

試料No.13 煙蒸室 天井 スレートボードB・塗装材(白)



採取前

※看板誤記
誤: フレキシブルボード
正: スレートボード



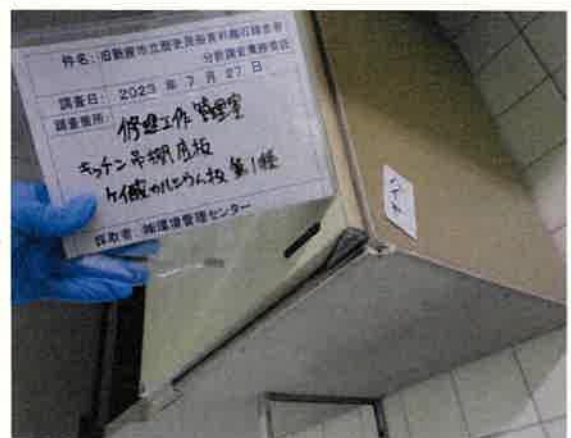
採取後・採取試料

※看板誤記
誤: フレキシブルボード
正: スレートボード

試料No.14 修理工作管理室 キッチン棚底面 けい酸カルシウム板第1種

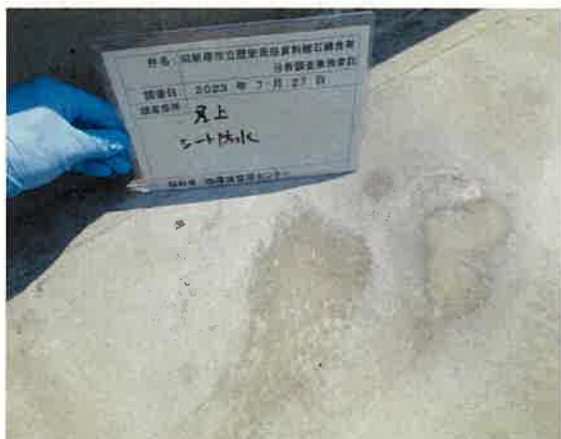


採取前



採取後・採取試料

試料No.15 屋上 床 シート防水



採取前



採取後・採取試料

試料No.16 屋上 床 アスファルト防水



採取前



採取後・採取試料

試料No.17 収蔵庫 天井 ロックウール吸音天井板



採取前



採取後・採取試料

試料No.18 収蔵庫 天井 せっこうボード



採取前



採取後・採取試料

試料No.19 外部 外壁 塗装材(オフホワイト)A



採取前①



採取後・採取試料①



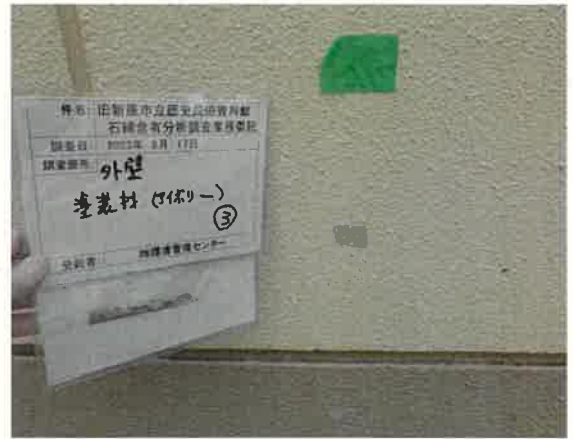
採取前②



採取後・採取試料②



採取前③



採取後・採取試料③

試料No.20 外部 外壁 塗装材(ベージュ)



採取前①



採取後・採取試料①



採取前②



採取後・採取試料②



採取前③



採取後・採取試料③

試料No.21 外部 外壁 シーリング材A



採取前



採取後・採取試料

試料No.22 外部 塀 塗装材(オフホワイト)B



採取前①



採取後・採取試料①



採取前②



採取後・採取試料②



採取前③



採取後・採取試料③

試料No.23 外部 塀 塗装材(赤茶)



採取前①



採取後・採取試料①



採取前②



採取後・採取試料②



採取前③



採取後・採取試料③

試料No.24 外部 塀 シーリング材B

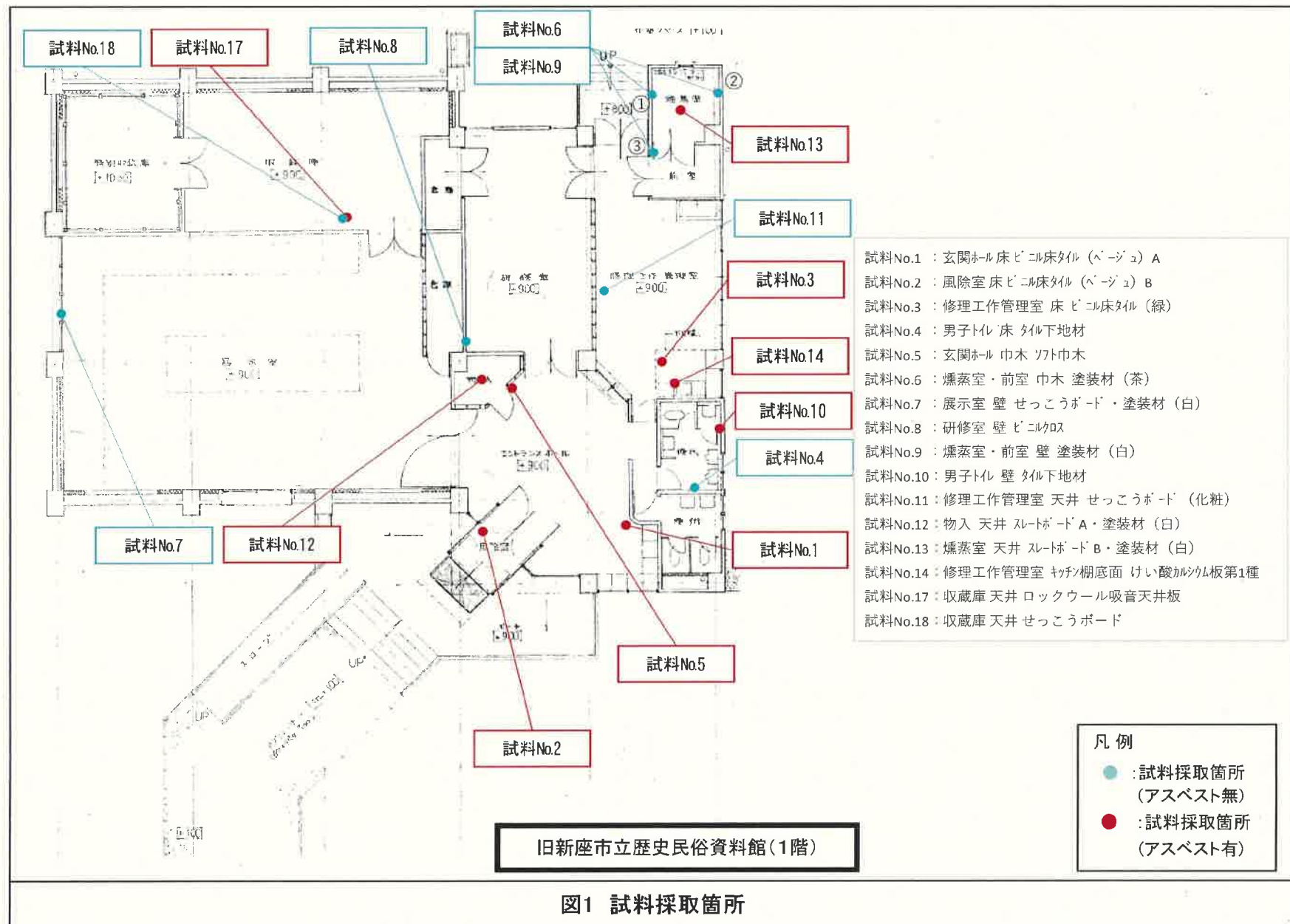


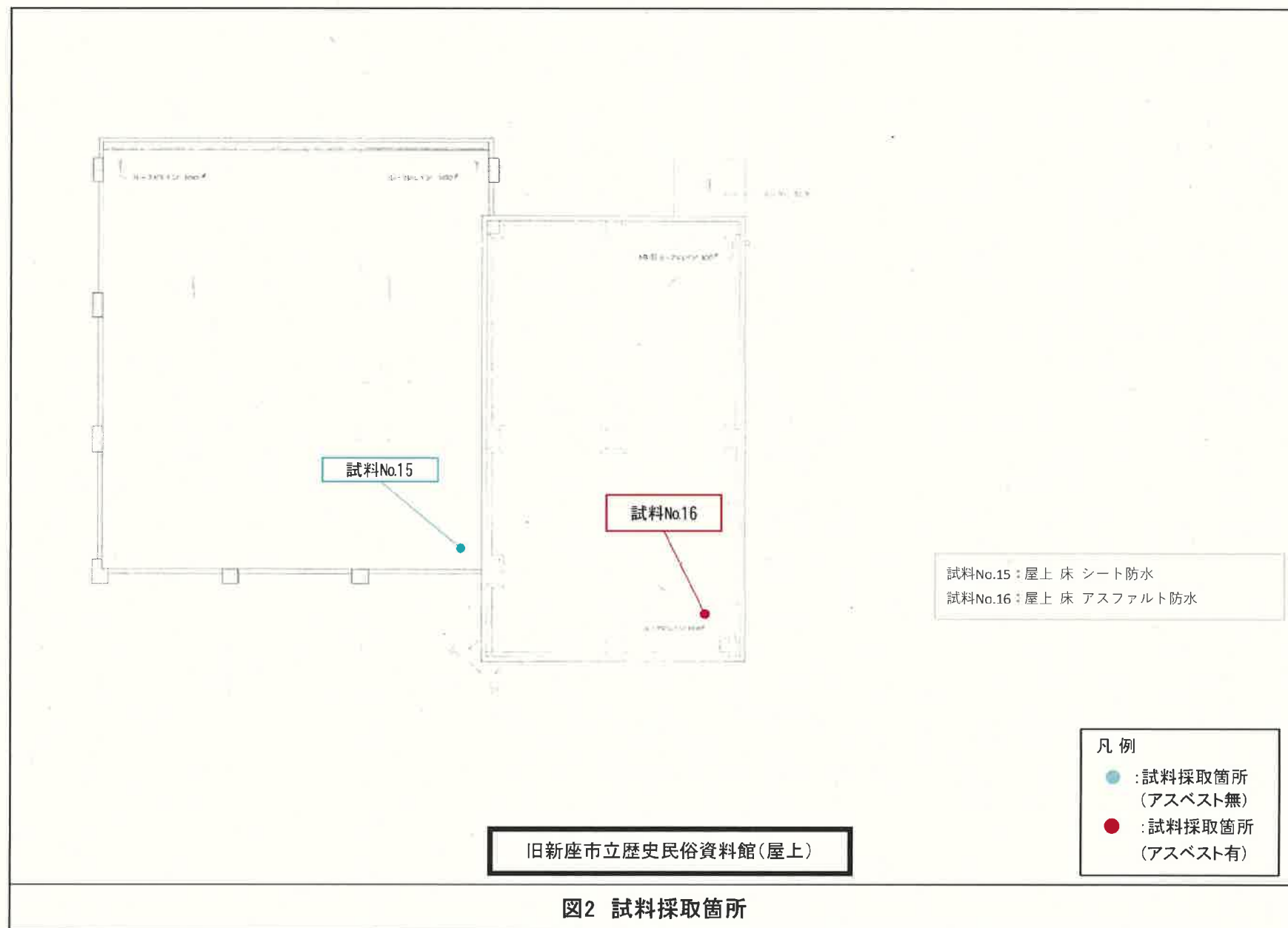
採取前



採取後・採取試料

試料採取箇所図





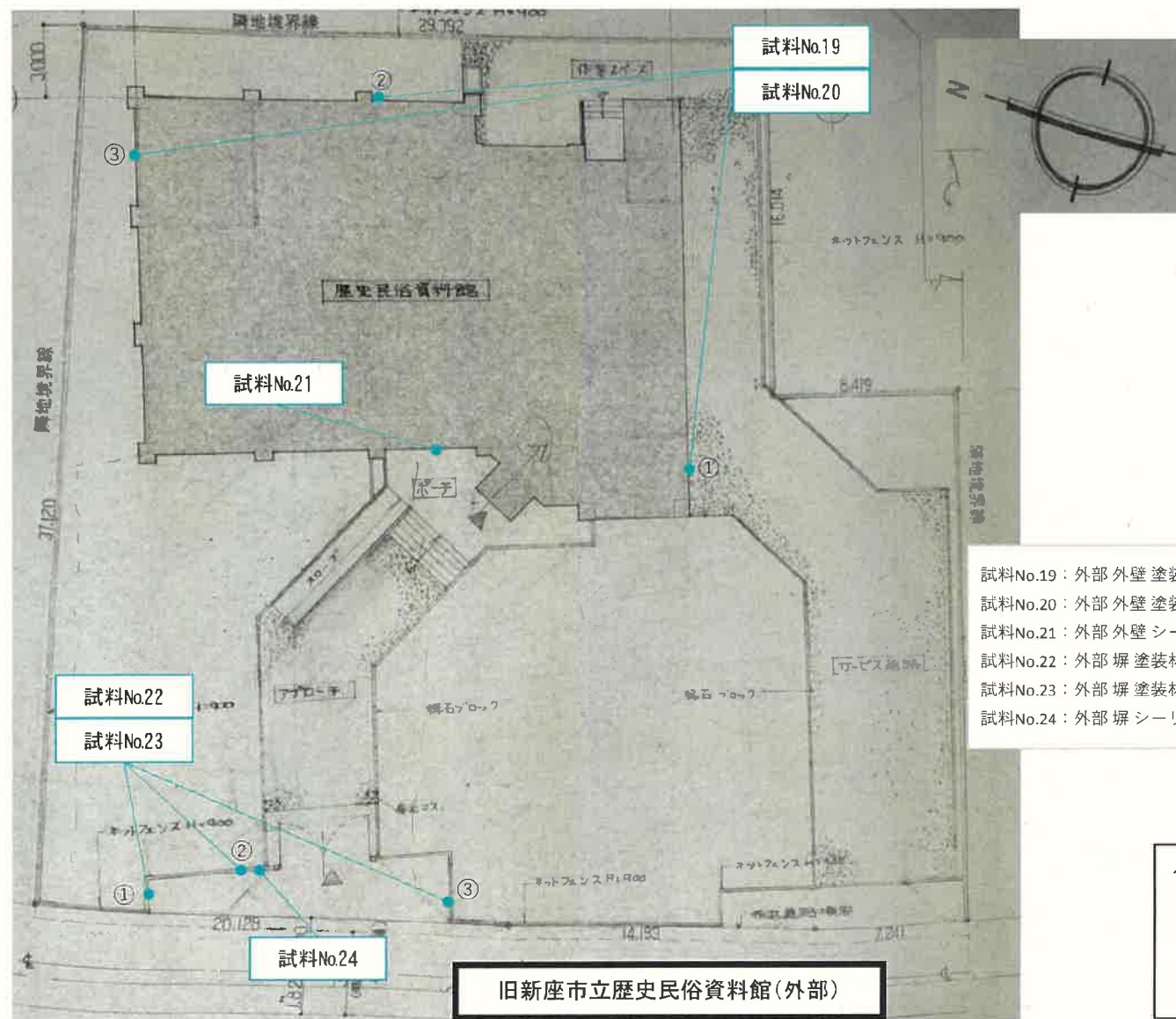


図3 試料採取箇所

アスベスト建材目視調査野帳

アスベスト建材目視調査野帳

調 査 日：2023年7月27日、8月17日

【分類符号】

● :アスベスト含有建材

○ : アスベスト含有疑義建材

■ :アスベスト含有みなし建材

× : アスベスト不含有建材(製造時期・材質等で判断)

件名		旧新座市立歴史民俗資料館石綿含有分析調査業務委託							
店舗	対象建物					旧新座市立歴史民俗資料館			
住所		新座市片山一丁目21番25号							
竣工年	1981年	規模	地上1階	構造	RC造	面積 (㎡)	365.8㎡	用途	資料館

[illegible]

※部屋ごとにアスベスト含有について可視範囲で目視調査。同一材料と判断できるものは同じ列に同じ分類符号を記載(分類符号は表の上部参照)。材料ごとに調査方法を選択する。

※天井裏確認可否：天井裏があった場合に、天井裏を確認出来たか否かを示す。天井裏が無い場合には「一」と示す。

アスベストに係る関係法令等

（

アスベストに係る関係法令等

1. 石綿事前調査結果の報告

● 建築物や工作物の解体・改修工事を行う際には、法令に基づき、石綿含有の有無の事前調査を実施する必要があります。

● 一定以上の建築物・工作物の場合、労働基準監督署、および自治体に事前調査結果の報告を行う義務が事業者（元方／元請事業者）に課せられます。報告対象となる工事は以下のとおりです。

【報告対象となる工事】

※石綿の有無によらず以下のいずれかに該当する場合には報告が必要です。

- ① 解体部分の 延べ床面積が 80 m²以上の建築物 の解体工事
- ② 請負金額が 税込 100 万円以上の建築物 の改修工事
- ③ 請負金額が 税込 100 万円以上の特定の工作物 の解体または改修工事
- ④ 総トン数が 20 トン以上の船舶（鋼製のものに限る）の解体又は改修工事（※令和 4 年 1 月 13 日厚生労働省令第 3 号により追加）

※ 事前調査そのものは、上記の規模によらずすべての工事で実施する必要があります。

※ 建築物の改修工事には、模様替え、修繕のほか、建築設備（ガス・電気の供給、給水、排水、換気、冷暖房、排煙、汚水処理のための設備等を含みます）の設置・修理・撤去等を行う場合が含まれます。

※ 工作物の改修工事には、定期修理が含まれます。

※ 報告対象となる工作物は以下のものです。（なお、事前調査自体は以下に限らず全て必要です。）

- ・反応槽、加熱炉、ボイラー、圧力容器、煙突（建築物に設ける排煙設備等の建築設備を除く）
- ・配管設備（建築物に設ける給水・排水・換気・暖房・冷房・排煙設備等の建築設備を除く）
- ・焼却設備、貯蔵設備（穀物を貯蔵するための設備を除く）
- ・発電設備（太陽光発電設備・風力発電設備を除く）、変電設備、配電設備、送電設備（ケーブルを含む）
- ・トンネルの天井板、遮音壁、軽量盛土保護パネル
- ・プラットホームの上家、鉄道の駅の地下式構造部分の壁・天井板

表-1 石綿含有建材の種類

建材の種類	石綿含有吹付け材 (レベル1)	石綿含有保温材等 (レベル2)	石綿含有成形板等 (レベル3)	石綿含有 仕上塗材
対 応 石 綿 含 有 材	①吹付け石綿 ②石綿含有吹付けロックウール(乾式) ③湿式石綿吹付け材(石綿含有吹付けロ ックウール(湿式)) ④石綿含有吹付けパーミキュライト ⑤石綿含有吹付けパーライト	【石綿含有耐火被覆材】 ①耐火被覆板 ②けい酸カルシウム板第 2種 【石綿含有断熱材】 ①屋根用折板裏石綿断 熱材 ②煙突用石綿断熱材 【石綿含有保温材】 ①石綿保温材 ②けいそう土保温材 ③石綿含有けい酸カルシ ウム保温材 ④パーミキュライト保温材 ⑤パーライト保温材 ⑥不定形保温材 (水練り保温材)	①外壁・軒天 スレートボード、スレート波板、 窯業系サイディング、押出成 形セメント板、けい酸カルシウ ム板第1種 ②屋根 スレート波板、住宅屋根用化 粧スレート ③内壁・天井 スレートボード、スラグせっこう 板、パーライト板、バルブセメン ト板、けい酸カルシウム板第1 種、せっこうボード、ロックウール 吸音天井板、ソフト巾木 ④床 ビニル床タイル、長尺塩ビシー ト、フリーアクセスフロア材 ⑤煙突 セメント円筒 ⑥その他 セメント管、ジョイントシート、 紡織品、パッキン	①建築用仕上塗 材(吹付けパー ミキュライト、吹 付けパーライトは 除く) ②建築用下地調 整塗材 ^{注)}
発じん性	著しく高い	高い	比較的低い	比較的低い
具 体 的 な 使 用 箇 所 の 例	①建築基準法の耐火建築物(3階建以 上の鉄骨構造の建築物、床面積の合計が 200m ² 以上の鉄骨構造の建築物等)な どの鉄骨、はり、柱等に、石綿とセメントの合 剤を吹付けて所定の被膜を形成させ、耐火 被膜用として使われている。昭和38 (1963)年頃から昭和50(1975)年 初頭までの建築物に多い。特に柱、エレベ ーター周りでは、昭和63(1988)年頃ま で、石綿含有吹付け材が使用されている場 合がある。 ②ビルの機械室、ボイラ室等の天井、壁又 はビル以外の建築物(体育館、講堂、温 泉の建物、工場、学校等)の天井、壁に、 石綿とセメントの合剤を吹付けて所定の被 膜を形成させ、吸音、結露防止(断熱 用)として使われている。昭和31 (1956)年頃から昭和50(1975)年 初頭までの建築物が多い。	①ボイラ本体及びその配 管、空調ダクト等の保温 材として、石綿保温材、 石綿含有けい酸カルシウ ム保温材等を張り付けて いる。 ②建築物の柱、はり、壁 等に耐火被覆材として、 石綿耐火被覆板、石綿 含有けい酸カルシウム板 第2種を張り付けてい る。 ③断熱材として、屋根用 折板裏断熱材、煙突用 断熱材を使用している。	①建築物の天井、壁、床等に 石綿含有成形板、ビニル床タ イル等を張り付けている。 ②屋根材として石綿スレート 等を用いている。 ③煙突や上下水道管に石綿 セメント円筒や石綿セメント管 が使用されている。 ④ダクトや配管のつなぎ部にジ ョイントシート(シール材)や 石綿紡織品、パッキンなどが 使用されている。	①建築物の外壁に 仕上塗材が塗られ ている。 ②内装仕上に仕 上塗材が塗られて いる。 ③建築用仕上塗 材を施工する際、 建築用下地調整 塗材を使用してい る。

注) 石綿を含有する建築用下地調整塗材は、法令上は石綿含有成形板等の作業基準が適用されるが、除去に当
たっては石綿含有仕上塗材に係る措置を実施すること。

出典:「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」
(厚生労働省・環境省 令和3年3月)

表-2 石綿飛散及びばく露防止対策の概要一覧

石綿含有建材 除去等の工法	切断等による除去				切断等によらない除去			封じ込め、囲い込み	
	石綿含有吹付け材		石綿含有保温材等		石綿含有保温材等		石綿含有吹付け材 石綿含有保温材等	切断等を 伴う	切断等を 伴わない
建築材料の 種類					屋根用 折板裏 断熱材	配管 保温材			
石綿含有建材除去等 作業時の飛散防止方 法	作業場を負 圧隔離養生 等	特殊工法 (例 グローブ バッグの場合) ¹⁾	作業場を負 圧隔離養生 等	特殊工法 (例 グローブ バッグの場合) ¹⁾	断熱材を折板 に付けたまま の除去	湿潤化して原 形のまま取り 外し	非石綿部での 切断による除 去 ²⁾	作業場を負 圧隔離養生 等	作業場を隔 離養生(負圧 不要)等
事前調査	要	要	要	要	要	要	要	要	要
事前調査結果の報告	要	要	要	要	要	要	要	要	要
事前調査結果の備え 付け	要	要	要	要	要	要	要	要	要
作業計画の作成	要	要	要	要	要	要	要	要	要
大防法及び安衛法・ 石綿則の届出	要	要	要	要	要	要	安衛法・石 綿則は要	要	要
事前調査結果の揭示	要	要	要	要	要	要	要	要	要
作業実施の揭示	要	要	要	要	要	要	要	要	要
喫煙禁止/飲食禁止 の揭示	要	要	要	要	要	要	要	要	要
作業主任者の選任	要	要	要	要	要	要	要	要	要
特別教育	要	要	要	要	要	要	要	要	要
保護具着用	要	要	要	要	要	要	要	要	要
作業場への関係者以 外立入禁止	要	要	要	要	要	要	要	要	要
隔離	負圧隔離 養生	グローブ バッグ	負圧隔離 養生	グローブ バッグ	隔離養生 (負圧不要) ³⁾	隔離養生 (負圧不要) ³⁾	不要	負圧隔離 養生	隔離養生 (負圧不要) ³⁾
セキュリティゾーン の設置	要	不要	要	不要	不要	不要	不要	要	不要
負圧の確保、集じん・ 排気装置の設置	要	高性能真 空掃除機 による 除じん	要	高性能真 空掃除機 による 除じん	不要	不要	不要	要	不要
機器による漏えいの 確認	要	必要に 応じて	要	必要に 応じて	不要	不要	不要	要	不要
負圧の確認	要	不要	要	不要	不要	不要	不要	要	不要
湿潤化	常時要	常時要	常時要	常時要	常時要	常時要	通常不要	常時要	常時要
清 掃	要	要	要	要	要	要	通常不要	要	要
取り残し等の確認	要	要	要	要	要	要	要	要	要
粉じん飛散防止処理	要	要	要	要	要	要	不要	要	要
隔離解除のための粉 じん飛散状況確認	要	不要	要	不要	不要	不要	不要	要	不要
事前調査結果、作業 内容の記録・保管	要	要	要	要	要	要	要	要	要

1) グローブバッグは、局所的に使用されるものである。

2) 石綿含有建材に接触せず、振動等による石綿の飛散のおそれがない場合には対象外。

3) 劣化による飛散が想定される場合は、負圧隔離養生等を行う。また、劣化により切断等によらない工法で除去を行うことが難しい場合は、切断等による工法で除去を行う。

表-3 石綿飛散及びばく露防止対策の概要一覧

石綿含有建材 除去等の工法	切断等によ らない除去	切断等によ る除去	切断等によ らない除去	切断等による 除去	切断等による除去 (電動工具は使用しない)		切断等による除去 (電動工具を用いて除去)	
建築材料の 種類	石綿含有成形板等				石綿含有仕上塗材			
	石綿含有成形板等		石綿含有けい酸 カルシウム板第1種					
石綿含有建材除去等時 の飛散防止方法	原形のまま 取り外し	湿 潤 化 等	原形のまま 取り外し	作業場を 隔離養生 (負圧不要) 等	湿潤化		作業場を隔離養生等	
					(例 高圧水洗 除去)	(例 剥離剤 併用手工具ケ レン除去)	(例 ディスクグラ インダー除去)	(例 集じん装 置付きディスクグラ インダー 除 去 (HEPA フィルタ 付き))
事前調査	要	要	要	要	要	要	要	要
事前調査結果の報告	要	要	要	要	要	要	要	要
事前調査結果の備え付 け	要	要	要	要	要	要	要	要
作業計画の作成	要	要	要	要	要	要	要	要
大防法及び安衛法・ 石綿則の届出	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要
事前調査結果の掲示	要	要	要	要	要	要	要	要
作業実施の掲示	要	要	要	要	要	要	要	要
喫煙禁止/飲食禁止の 掲示	要	要	要	要	要	要	要	要
作業主任者の選任	要	要	要	要	要	要	要	要
特別教育	要	要	要	要	要	要	要	要
保護具着用	要	要	要	要	要	要	要	要
作業場への関係者以外 立入禁止	要	要	要	要	要	要	要	要
隔離	不要	不要 ¹⁾	不要	隔離養生 (負圧不要)	不要	不要	隔離養生 (負圧不要)	要件を満た す場合不要
湿潤化	不要	常時要	不要	常時要	常時要	常時要	常時要	要件を満た す場合不要
(飛沫防止等の養生 ²⁾)	必要に 応じて	必要に 応じて	必要に 応じて	必要に 応じて	要	要	必要に 応じて	必要に 応じて
(床防水養生 ²⁾)	－	－	－	－	要	－	－	－
(汚染水処理 ²⁾)	－	－	－	－	要	－	－	－
清掃	要	要	要	要	要	要	要	要
取り残し等の確認	要	要	要	要	要	要	要	要
事前調査結果、作業内 容の記録・保管	要	要	要	要	要	要	要	要

1) 必要に応じて外周囲い養生等を行うことが望ましい。

2) 工法等によって実施が必要な措置。

出典：「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」
(厚生労働省・環境省 令和3年3月)

表-4 石綿含有成形板等及び石綿含有仕上塗材の解体等工事における
大防法・石綿則・廃棄物処理法の規制

項目	大防法条項	石綿則 条項	石綿含有成形板等 解体等に伴う除去				石綿含有仕上塗材 除去	
			石綿含有 けい酸カルシウム板第1種		その他の石綿含有成形板等		電動工具を 使用しない	電動工具を 使用する
			原形のまま取 り外し	切断等	原形のまま取 り外し	切断等		
事前調査の実施	18条の15第1項 (規則16条の5)	3条	要	要	要	要	要	要
作業計画の作成	18条の14(規則16 条の4第一号)	4条	要	要	要	要	要	要
作業、計画の 届出	—	—	届出対象外	届出対象外	届出対象外	届出対象外	届出対象外	届出対象外
事前調査結 果の報告	18条の15第6項 (規則16条の11)	4条の 2	要	要	要	要	要	要
事前調査結 果揭示	18条の15第5項 (規則16条の9、10)	3条	要	要	要	要	要	要
その他揭示	18条の14(規則16 条の4第二号)	15条 他	要	要	要	要	要	要
隔離養生 (負圧不 要)	18条の14 (規則別表第7の4)	6条の 2	不要	要	不要	不要	不要	要
立入禁止措 置	—	15条	要	要	要	要	要	要
湿潤化	18条の14 (規則別表第7の4)	13条	不要	要	不要	要	要	要
完了確認	18条の14(規則16 条の4第四号、五号)	—	要	要	要	要	要	要
石綿作業主 任者	—	19条	要	要	要	要	要	要
石綿特別教 育	—	27条	要	要	要	要	要	要
呼吸用保護 具	—	14条	防じんマスク 又は 電動ファン付	電動ファン付	防じんマスク 又は 電動ファン付	防じんマスク 又は 電動ファン付	防じんマスク 又は 電動ファン付 ※1	電動ファン付 き
保護衣等	—	14条	専用の作業 衣又は保護 衣	フード付き 保護衣	専用の作業 衣又は保護 衣	専用の作業 衣又は保護 衣	専用の作業 衣又は保護 衣	フード付き保 護衣
作業記録	18条の14 (規則6条の8)	35条	要※ (3年保存、 概要は40 年)	要※ (3年保存、 概要は40 年)	要※ (3年保存、 概要は40 年)	要※ (3年保存、 概要は40 年)	要※2 (3年保 存、概要は 40年)	要※2 (3年保存、 概要は40 年)
廃棄物	—	廃棄物 処理法	石綿含有廃 棄物として処 理	石綿含有廃 棄物として処 理	石綿含有廃 棄物として処 理	石綿含有廃 棄物として処 理	石綿含有廃 棄物として処 理	石綿含有廃 棄物として処 理

※下請負人による作業の記録は、工事が終了するまで保存(大防法施行規則第16条の4第三号)

※1 剥離剤工法の場合、使用する剥離剤及び工程に合わせて送気マスク等の適切な呼吸用保護具を着用する必要がある。令和2年基安化発0817第1号を参照。

※2 下請負人による作業の記録は、工事が終了するまで保存(大防法施行規則第16条の4第三号)。

出典:「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」
(厚生労働省・環境省 令和3年3月)

参照

「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」
(令和 3 年 3 月 厚生労働省・環境省)

「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル（東京都環境局）」
(東京都環境局 令和 4 年 3 月)

石綿総合情報ポータルサイト

<https://www.ishiwata.mhlw.go.jp/>

